社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会 広報紙

ふれあい名古屋

2023
10月
October

【特集】福祉クローズアップ

男性介護者のよりどころに 「ジェントルマンの会」

守山区 上志段味学区推進協の皆さん（p.4）

はじめの一歩教室（p.8）

ハンドクラフトあつた（p.7）

CONTENTS

社協活動最前線　守山区社会福祉協議会……4
想いをつなぐリレートーク / ながら体操……5
ほっとはあとコーナー……6
- 旬ボラを行く！
  徳川美術館で歴史の真実を見よう！
- ボランティア・NPOウォッチング
  おはなしえほんばこ／ハンドクラフトあつた
- きらっとボランティア・NPOらいぶ
  自主夜間中学　はじめの一歩教室
- 地区のオススメのボランティア
  中村区スポーツひろめ隊　ボッチャで元気な地域づくりに貢献！

からだに優しい いきいきレシピ / プレゼントつきクイズ……10
インフォメーション……11
ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介……12

今回の特集は、
男性介護者交流会
「ジェントルマンの会」を
取材しました。
関連記事：2・3ページ

な～や

特集：福祉クローズアップ

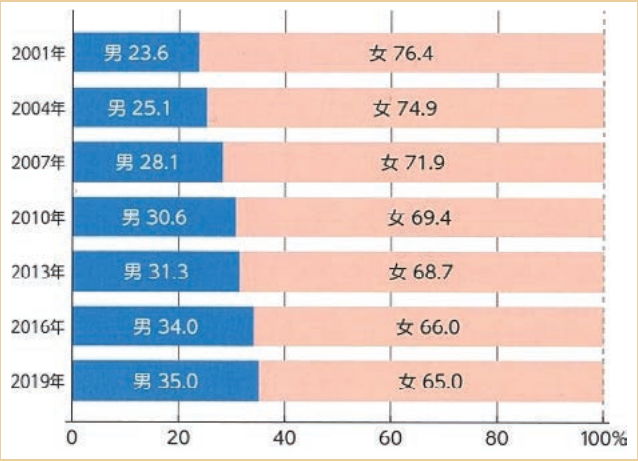
男性介護者のよりどころに「ジェントルマンの会」

社会状況の変化から家族を介護する男性が増えたことに伴って、同じ男性介護者と交流したり、日々の悩みや解決方法について情報交換したりするための場が全国で開催されています。

今回は、認知症の人と家族の会　愛知県支部（以下、「家族の会」）と名古屋市認知症相談支援センター（以下、「認知症相談センター」）が協働して開催する男性介護者交流会「ジェントルマンの会」（名古屋会場）を取材し、運営に関わる方々の思いをお聞きしました。

家族介護の担い手の変化

厚生労働省の調査によると、家族を介護する男性の割合は2019年時点で全体の3割以上を占めています。まだ女性と比較すると少数派ではありますが、その割合は徐々に増加しています。（※1参照）



※1　厚生労働省　国民生活基礎調査より

その要因の一つとして挙げられるのが、家族の形の変容です。核家族化の進行によって夫が妻を介護せざるを得なかったり、未婚率が上昇している影響で独身の男性が実親を介護したりするケースが増加していると考えられます。かつて、介護は女性の役割ととらえられてきましたが、男性も介護に参画しなければ成り立たない時代となりつつあります。

一方で、慣れない家事への負担感など男性ならではの悩みを抱えながらも、データや本をもとに自分で解決しようとしがちで、周囲に相談できずに孤立しやすいという問題もあります。

男性介護者が直面しやすい困難・課題

① **生活的自立の遅れ**
食事・洗濯などの家事が上手くできない

② **周囲との付き合いの乏しさ**
地域に知り合いも少なく、弱音を吐けない

③ **“仕事”として介護を捉える**
達成感を求め、責任感の強さからSOSをためらう

出典：斎藤真緒「増える男性介護者の実態と家族介護者への支援の課題」コミュニティケア18(9)　p.50-55　日本看護協会出版（2016）

日々の苦労や悩みを共有

そんな様々な悩みを解消するための取り組みとして、男性介護者のための集いの場「ジェントルマンの会」が開催されています。家族の会は、認知症と家族介護の問題に関心を持ち活動している民間団体ですが、男性介護者交流会「ジェントルマンの会」については、愛知県内3つの会場で開催しています。名古屋会場においては、認知症相談支援センターと共催という形で立ち上がり、運営されています。参加者の境遇や年代は

ジェントルマンの会の様子

（左から）　認知症の人と家族の会　松宮 道雄さん
同　渡邊 隆城さん
名古屋市認知症相談支援センター　山口 喜樹所長
同　服藤 幸則主事

様々ですが、それぞれが家族の介護についての悩みを抱えているという点では同じです。

今回は、昭和区役所の一室で開催された会合にお邪魔しました。家族の会の世話人であり、自らも実母の介護経験がある渡邊さんの進行のもと、活発な情報交換やアドバイスが交わされました。

10人程度の参加者が1人ずつ順番に最近の介護の状況について話す中で、「デイサービスやショートステイを嫌がってあまり行きたがらないんです」、「食事を作るのがおっくうで、週に何度か配食サービスを使っています」など、それぞれのご家族の様子や悩みが語られます。他の参加者の方の話に共感してうなずく方の姿も見られました。

渡邊さんは参加者の話を受けて「それは苦労されているんじゃないですか？」とねぎらい、「上手に人やサービスの力を借りてください。自分も以前は人に頼めなかったけれど、ご自身が追い詰められないように。楽をしてもいいんです」と助言します。

同じく家族の会の松宮さんも、奥様の介護が必要になったことで家事に苦労した経験をもとに、「女性と違って、基本的なことができないところから始まるから大変だよね」と共感します。

話すことが最大のストレス発散

渡邊さんは、会の運営にあたって2つのことを心がけているそうです。1つ目は、参加者の話を否定しないこと。介護への考え方や取り組み方は人によって様々であり、まずはそれぞれの方の思いを尊重して受け入れることを大事にしているそうです。2つ目は、なるべく平等に発言してもらうこと。参加者が自由に発言する場面も大事にしながら、特に現役で介護している方に十分に話してもらえるように働きかけています。「話すことが最大のストレス発散」とし、女性も交えた場では話しにくいことも気兼ねなく発言できるような会づくりに努めています。

会の今後について渡邊さんは、1人1人に十分に話していただくには現在の参加者数が適切としつつ、「より多くの介護者のニーズに応えられるよう、このような男性介護者の会が増えればいい」と話します。

認知症相談センターの山口 喜樹所長は、「渡邊さんや松宮さんのように、実際に介護を経験された方が運営するジェントルマンの会は非常に有意義。当センターとしてもノウハウを共有し、広げていきたい」と話しました。

家族を介護されている方へ

ご自身もバイオリンや絵手紙など多くの趣味を持つ松宮さんは、現在介護をしている男性に伝えたいこととして、「人生の楽しみを介護によって絶やさないでほしい。ジェントルマンの会に来て話せば何とかなります」と力強く話しました。

●お問い合わせ先

認知症の人と家族の会　愛知県支部
TEL：0562-33-7048
HP：https://hearttoheart.or.jp/

名古屋市認知症相談支援センター
TEL：052-734-7079
HP：http://n-renkei.jp/

男性介護者交流会「ジェントルマンの会」
名古屋会場、知多会場、岡崎会場にて月1回開催
会場、開催日等はお問い合わせください。

Vol.54 今回は

守山区社会福祉協議会

ゆるいつながりを強みに　「上志段味ゆるさぽ」の取り組み

地域福祉推進協議会（推進協）は、各小学校区で地域の活動者や団体が中心となり、住民とともに福祉活動を通じて地域の活性化を目指すための組織です。

推進協では主に、交流やふれあいによって住民同士の理解を深める活動や、支援の必要な方に対してサービスを行う活動、住民の福祉への意識を高めるための広報・啓発活動などを行っています。

上志段味学区推進協がスタート

守山区の上志段味学区では、人口の増加に伴って新たに上志段味小学校が開校し、令和5年6月1日付で新たに上志段味学区推進協が立ち上がりました。名古屋市内で新しい推進協が立ち上がるのは、実に19年ぶりです。

上志段味学区は若い子育て世帯の転入者が多い傾向があり、住民と地域のつながりが希薄になることが懸念されています。そこで、住民が地域に関わりやすくする仕組みとして取り組んでいるのが「ゆるさぽ」です。

自治会のIT推進委員に所属し、ゆるさぽの中心メンバーとなっている稲垣さんは、「ゆるさぽは、若い方を地域の取り組みに巻き込むことを目的にスタートしました。自治会の役員になることは負担に感じるけれど、自分のできるときにできることを手伝いたいという方は一定数います。そのような方にLINEに登録してもらい、イベントや地域での活動への協力を呼びかけています」と話します。

現在、LINEの登録者は150人ほど。子育てサロンや子ども用品のおゆずり会のお手伝いなど、ゆるさぽへの参加をきっかけに民生委員・児童委員になった方もいらっしゃるそうです。

活動の様子は、ホームページやInstagramでも発信しています。

現在、地域活動に関わる機会が少ない子育て世代の男性を巻き込める仕組みを検討中とのことです。

「何でもやってみよう」の柔軟さ

ゆるさぽは、上志段味学区の様々な地域団体や地域活動者のために日々活動しています。その一環として推進協にも協力し、お互いのアイデアや意見を参考にしながら、地域のニーズの発見や新しい取り組みにつなげています。

水野自治会会長は、「これまでの学区の取り組みは大切にしながら、地域の状況に合わせてあり方を変えることも必要だと感じています。一方で、課題もあります。ゆるさぽはSNSを活用することでスピード感をもって地域の方とつながれることが強みですが、継続していくにはマンパワーや費用、環境が必要です。そういった課題への対応により、同様の取り組みが名古屋市全体で進むことを期待しています」と話します。

西村推進協会長は、「今年は初年度ということもあり、失敗を恐れず何でもやってみようと思っています。将来的に『さすが上志段味』と言われるようなモデルになれれば」と話してくださいました。

推進協会議の様子

上志段味自治会ホームページ

ゆるさぽ Instagram

KAMISHIDAMIYURUSAPO

お問い合わせ

守山区社会福祉協議会　TEL：052-758-2011

想いをつなぐ

リレートーク 54

社会福祉法人緑生福祉会
特別養護老人ホーム　南生苑
統括主任　齊藤　睦さん

はじめまして、社会福祉法人緑生福祉会特別養護老人ホーム南生苑の齊藤睦といいます。

名古屋市南区に南生苑が開設して、はやいもので20年が経とうとしています。当施設は緑生福祉会の基本理念「やすらぎ・やさしさ・活力・自由・清潔」のキーワードを掲げ、利用者が自ら望む生活の提供に力を入れて、施設運営をしてまいりました。

20年目の節目の年として「リニューアル南生苑～新たな挑戦～」と題する3か年計画の初年度として、これまでの経験に囚われず新しいことにチャレンジしていこうと考えています。

まず入所者と担当フロア職員で企画する行事・レクをより多く実施することで、コロナ禍で鬱積した思いを自由に発散し活力ある生活を取り戻すことを始めました。

開設当初から取り組んでいる看取りケアでは、入所されている方が終末期にどのようなことを望んでいるのかが分かりにくいケースが多くあります。そこでACP※用アセスメントシートを活用し、最期までその人らしく施設生活が送れるよう利用者本人・家族・施設職員一丸となって、自己実現できる生活の支援をしています。新たな取り組みを積み重ねることでより質の高いケアの提供を目指します。

※ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしもの時のために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い共有する取り組みのこと。

次回は　**社会福祉法人小鳩会　小鳩幼児園　園長**
松本 一男さんへバトンタッチ

ながら体操

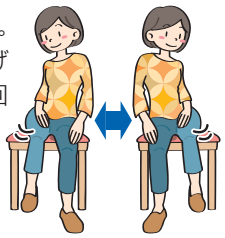
仕事や家事の合間に、「椅子に座りながら」できる体操です。

第21回　お尻歩き

骨盤まわりの筋肉を鍛えると共に、腰痛や便秘を予防します。

1 安定した椅子に座ります。足は肩幅程度に開き、背筋を伸ばします。

2 最初は「その場歩き」。お尻を左右交互に上げて下ろします。10回行います。



3 次は「お尻歩き」。椅子の座面をお尻（座骨）で前に4歩進みます。足はそのまま。

4 今度はお尻で4歩戻ります。10回繰り返します。

旬ボラを行く！

本号のテーマ　徳川美術館で歴史の真実を見よう！

〈インタビュアー：オムライス〉

今回の旬ボラを行く！は話題の大河ドラマ「どうする家康」にちなんで徳川美術館でボランティアをしている和田さん、青山さん、渡辺さんの3名に取材させていただきました。

●ボランティア内容と始めたきっかけはなんですか？

昭和62年からボランティアを始めて36年目になります。受付や展示室監視業務などお客様の対応をするほか、展示についての解説も行っています。徳川美術館では、コロナが流行する前は、様々な講座やコンサートなども行っていたので、そのようなイベントにも受付準備などのボランティアとして参加していました。元々、歴史や日本美術が好きで美術館に惹かれていたので、徳川美術館の新館開館時に新聞に掲載されたボランティア募集を見て「これだ！」と思いすぐに応募しました。

●実際に憧れの美術館でのボランティアはどうですか？

変化に富んでいておもしろいと感じています。近年は外国人のお客様も増え案内をすることがますます楽しくなりました。迷われている姿をみると「何かしなければ！」と思い積極的に声掛けをしています。また、最近は刀剣乱舞というゲームの影響もあってなのか、若いお客様も増えています。私たちも知らない知識を沢山持っていらっしゃる方もあり、勉強にもなりますし、驚きとともに嬉しく思います。

●36年もボランティアを続けられる理由はなんですか？

月1回のボランティアなので無理せず続けることができました。お休みして迷惑をかけないよう健康には特に気をつけてきました。また、歴史好きが集まっているという点は大きいと思います。ボランティア同士で、美術館や寺院などへ旅行に行くことや、ランチに行くこともあります。お客様に楽しんでもらいたい！という思いをボランティア同士が共通して持っていると感じるので、お互いに楽しみながら続けることができていると思います。

上：左から渡辺さん、青山さん、和田さん
中央、下：活動中の風景

●読者の方へ

「どうする家康」を見て徳川家に興味を持った方はもちろん、歴史が好きな方はぜひ、徳川美術館にお越しください。TV や本の中で語られる作品の本物がご覧いただけ、本物を見ると感動につながります！歴史を身近に感じることができる素敵な場所です。ぜひ一度足を運んでくださると嬉しいです。

●インタビュアーより

取材中には「千鳥の香炉」など歴史的逸話をもつたくさんの展示物を紹介していただきました。おすすめの展示物のストーリーや魅力をお話される姿、「徳川という単語に反応してしまうよね～」と話す姿から皆さんの歴史好きや徳川美術館への思いが伝わりました。秋頃（9/24～）からは「人間讃歌―江戸の風俗画―」の展覧会が始まるそうです。貴重な文化財を後世に守り伝えていきたいという願いがこもった徳川美術館にぜひ足を運んでみてください！

【お問い合わせ】

徳川美術館
TEL：052-935-6262　FAX：052-935-6261
https://www.tokugawa-art-museum.jp/

ボランティア・NPOウォッチング

団体の活動内容等を紹介するコーナーです。

ほっとはあとコーナー
地域住民、ボランティアや企業、学校関係者などへのボランティア情報発信を目的に、ほっとはあとクラブ（ボランティアの方々）と本会ボランティアセンターが協働編集（取材・執筆）しています。

おはなしえほんばこ

【団体概要・活動内容】

中川区西部にある富田図書館で活動しています。主な活動は第2土曜と第4木曜のおはなし会で、絵本や紙芝居の読み聞かせを行っています。年1回の夏のおたのしみ会では、大型絵本・エプロンシアター・人形劇なども披露しています。また、児童館や子育て支援の場にも出かけて読み聞かせをしています。

おたのしみ会の始まりは紙芝居！

【活動者の思い】

おはなし会では、絵本を人の声で届け、1冊の本から広がる想像の世界をみんなで楽しむことを心がけています。また、わらべうたや手遊びで、一緒に身体を動かしながら、親子のふれあいやまわりの人たちとのつながりを深めていきたいです。

今、テレビやスマホが当たり前の生活ですが、子どもたちにはおはなし会で、絵本やわらべうたとの楽しいひとときをすごしてもらいたいです。

親子で楽しむおはなし会。児童館にて

【お問い合わせ】

富田図書館　名古屋市中川区服部3丁目601
TEL：052-432-5313

ハンドクラフトあつた

【団体概要・活動内容】

コロナ禍の令和2年春、裁縫が得意な方のグループ活動としてスタート。最初の活動は当時不足していたマスク作成でした。現在は、月1回（第3月曜日）定例会にて作品制作をしています。（例：高齢者福祉施設へ敬老お祝い品・子ども食堂で子どもと販売体験など）

また、社会福祉協議会へ寄付された布等を活用し、寄付者の「何かの役に立ちたい」気持ちを大切にしています。

【活動者の思い】

最近は、これまで作品を寄付してきたことでグループを知る人が増え、相談やリクエストも増えてきました。それに伴い、相談に応じて手芸品を作り寄付することが増えています。

相談を聞きながら、メンバーでアイデアを出し手芸品のデザインを考えて作ることは楽しいですが、やはり大変なことも多いです。これからもメンバーと協力し合いながら続けられたらと思います。

定例会・作業の風景

【お問い合わせ】

熱田区社会福祉協議会　TEL：052-671-2875　FAX：052-671-4019
E-mail：atutaVC@nagoya-shakyo.or.jp

きらっと ボランティア・NPOらいぶ

「自主夜間中学　はじめの一歩教室」

コロナの影響で外に出られないという状況は少しずつ緩和されてきましたね。今回は、日本語や学校の勉強を対面で教えてくれるボランティア教室を開催している北区の「はじめの一歩教室」の代表、笹山悦子さんのお話をご紹介します。日本語を学びたい外国の方や学び直したい方は「はじめの一歩教室」の門をたたいてみませんか？

〈インタビュー：シャオムー〉

●「はじめの一歩教室」とはどんなところ？

笹山さんのお話を聞きに行ったのは7月初旬。「はじめの一歩教室」が行われている上飯田の「憩いの家」の玄関を入ると靴は一杯、目の前にはたくさんのちびっこたちが床でゲームをしていて、奥には様々な大きさの机や椅子が並べられ懸命に宿題に取り組む学生さんとボランティアの講師の姿が目に飛び込んできました。生徒さんは10代や20代のアジアからの人が多かったでしょうか？元気できれいな中国語も耳に入ってきます。

「憩いの家」はまるで、昭和の時代に建てられた古びた公民館のようで、気構える必要のない懐かしさを感じさせる空間なのです。楽しく学ぼうとする活気が伝わってくる場所でした。

●「はじめの一歩教室」が開設された背景

笹山先生たちが「はじめの一歩教室」を立ちあげた理由は、学習する必要性や意思はあるのに必要な教育を提供できる適切な場所が足りていないから。先生たちはこの「はじめの一歩教室」を訪れる生徒さんがここで学び、自分自身で道を開いていけるような基礎学力を提供できればという願いから教室を作られたのです。

●適切な教育を提供できる場所が足りていないとは？

私たちの周りには、さまざまな理由で来日したものの適切な教育を受けられない、こうした子どもたちがいます。

- 親が日本で就労することになり一緒に来日したが数か月経っても学校に通えない。
- 学校へ通えることになっても、そもそも日本語がわからず授業の内容が理解できない。
- 難民として日本に来た人々は戻る故郷もなく日本の社会に適応してがんばっていくしかない。

問題を抱えているのは外国人に限りません。例えばこんな方々もいます。

- 無理して高校には入学したが、ついていけず中退せざるをえなくなった学生さん。
- 不登校やひきこもりになり、きちんとした学習機会が得られなくなった子どもたち。
- 義務教育が未修了で字を覚える機会も得られず、生きていく中で学習の必要性を感じている人たち。

●「はじめの一歩教室」で教えてもらえることとは？

学ばなければならない内容は人それぞれ。生徒さんが必要だと思うメニューをボランティア講師とマンツーマンで学習していくスタイルが取られています。

日本語学習で言えば、ひらがなやカタカナから学ぶ必要のある人もいますし、学校で宿題として出された理科や数学のプリントの問題を完成させることが課題の人もいます。

●「はじめの一歩教室」の目指すところとは？（どうしたら社会に参加できるの？）

母国語が日本語でない人にとって日本人のように言葉をマスターすることは難しいことかもしれません。しかし、自分で辞書で調べて自主学習できるようなレベルまでいけば、あるいは義務教育を修了しているレベルに到達できれば、生活で必要な文字や計算を理解できて、日本の社会で生きていくことができます。

多くの人にとって、義務教育を修了することは、ごくあたりまえのことかもしれません。しかし、心身の問題や経済的な問題、あるいは周りの環境の問題で教育の機会が得られなかった人は一定数いて、その後の人生で職に就くことや社会のメンバーになることは困難なことなのです。

「はじめの一歩教室」に参加することで、居場所ができて、いろんな道へつながっていける機会ができて自己肯定感を高められる場所にできればと笹山先生やボランティアの皆さんは頑張っているのです。

2020年8月に「はじめの一歩教室」が開設された時には5名だった生徒さんが今では登録者が180名となりました。講師の先生ボランティアを募集していますので興味のある方は是非、参加してみてください（気持ちのある方なら誰でも参加できます）。

教室開催日は、土曜日の10時～20時までで、月に1回お休みします（休みの日程はお問合せください）。

笹山さん（左）

勉強を教える様子

【お問い合わせ】

自主夜間中学はじめの一歩教室ホームページのお問い合わせフォームからお願いします
https://volunteer-organization-983.business.site/

各区社協の職員に聞いた 地区のオススメのボランティア

第11回 中村区スポーツひろめ隊　ボッチャで元気な地域づくりに貢献！

〈インタビュアー：旅する食いしん坊 YM〉

左から小野寺さん、冨田さん（代表）、舟橋さん、川田さん

ユニバーサル（だれでも取り組める）スポーツ、ボッチャで地域福祉を応援する仲間たち、『中村区スポーツひろめ隊』の皆さんを取材しました。

●まず、“ボッチャ”未体験の読者のためにどんなスポーツか紹介していただけますか

ジャックボールと呼ばれる白球に、赤と青のボールを投げて、どちらが白球に近づけるかを競い合います。ボールは275gと軽く、パラリンピックの正式種目です。慣れてくると、頭脳戦のゲームとしても楽しめます。

●『ひろめ隊』は、どんな経緯でできたのでしょうか

中村区社会福祉協議会の地域福祉活動計画で【世代を超えて地域でつながろう】という呼びかけに応じて集まった仲間たちが、7年前に“中村区スポーツひろめ隊”というネーミングの下に活動を始めました。

●『ひろめ隊』として、これまでどんな活動をなさってきましたか

1. 毎月1回“わいわいボッチャ”の集いを主催して地域の方とボッチャで交流しています。
2. 依頼により隊員の地域派遣を行っています。（コート作り、ルール説明、審判、後片づけ）
3. 名古屋市児童館交流ボッチャ大会の審判をしています。
4. 定期的にボッチャサロンのサポートをしています。

●活動していて感じたり、思ったりしていることをどうぞ

舟橋さん：子や孫といっしょに三世代で同じスポーツができて、楽しいです。

小野寺さん：心身にさまざまな難しさを抱えている方もいっしょに取り組めます。

冨田さん：“ひろめ隊”メンバーとして若い協力者が増えるよう工夫していきたいです。フレイル予防や認知症予防のために、どんどんボッチャをひろめていきたいです。

川田さん：間もなく活動開始から7年、グランドゴルフのような人気プログラムにしたいです。

●読者の皆さんへのメッセージを

室内でできるかんたんな運動です。パラリンピックでご覧になった方もいるかもしれませんが、身体の状況に応じたルールもあり、どんな方でも楽しめるスポーツです。皆さんもぜひ一度会場で体験してみてください。お待ちしています！

「昔からスポーツ少女だった方、手をあげてみてください！」というインタビュアーの言葉に、間髪入れず一斉に手があがりました。おそろいのスタイリッシュなキャップで颯爽と取材会場に登場された皆さんたち。運動は心身の健やかさをキープする鍵のひとつであることを見事に体現されたその姿にたっぷり元気をいただいた取材でした。

【審判の派遣依頼やお問い合わせ】

中村区社会福祉協議会（ボランティア担当）
TEL：052-486-2131
mail：n-fukushi@nakamura-shakyo.jp

ほっとはあとクラブメンバーのつぶやき

皆さんは今年の夏に、打ち上げ花火をみましたか？私は残念ながら直接花火を見ることができませんでしたが、コロナ後やっとお祭りや花火大会などが復活して嬉しく思います。未だにコロナ前の規模には戻っていないお祭りもあるようで悲しいですが、コロナがあったからこそ夏祭りの楽しさや花火の綺麗さをより感じることができた気がします。夏休み期間中は、夏祭りのニュースを見る度にワクワクしていましたが、最高気温を伝えるニュースには驚くことが多かったです。秋も色々なお祭りがありますが、暑い日が続くので熱中症に気をつけながら楽しみたいものです。みなさんもご自愛ください。　〈ペンネーム　オムライス〉

からだに優しい
いきいきレシピ

淡泊な豆腐をコクのある中華味で

豆腐とキノコの中華風うま煮

良質なタンパク質が豊富な豆腐と、食物繊維、ビタミン、ミネラルが取れる旬のキノコを合わせた栄養バランスの良い一皿です。中華だしは顆粒、ペーストなどがありますが、それぞれ表示通りの分量をお湯で溶いておきます。キノコはお好みのものを。生のキクラゲがなければ乾燥キクラゲを使ったり、省いても OK です。

材料（2人分）

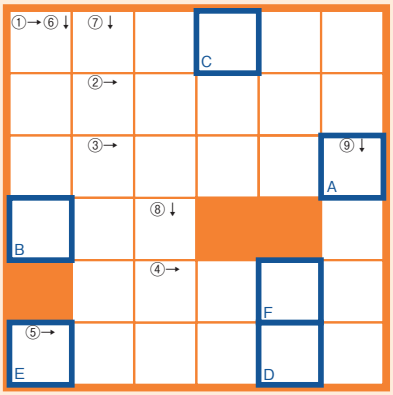
- 木綿豆腐　1丁
- キクラゲ（生）　2枚
- シイタケ　2枚
- シメジ　1/2袋
- ニンジン　1/4本
- ピーマン　1個
- 片栗粉　小さじ2
- 油　適量

A
- 中華だし＋湯100ml
- オイスターソース　大さじ1
- 塩　少々

1. 豆腐は水気を切り、縦半分に切ったあと、色紙切りにする。
2. キクラゲ、シイタケ、シメジは石づきを取って食べやすい大きさに切る。ニンジン、ピーマンは一口大に切る。
3. 片栗粉は同量の水で溶いておく。
4. フライパンに油を熱し、2を炒める。A を加えて煮立ったら、豆腐を加える。
5. 豆腐に火が通ったら、水溶き片栗粉でとろみを付ける。

プレゼントつきクイズ

クロスワードを解いて、色枠に入った文字を A ～ F の順に並べると、何という言葉になるでしょう。



ヨコのカギ（小文字も大文字とします）

①p9で紹介したボッチャは、○○○○○○スポーツ
②p2～3の特集に登場。○○○○○マンの会
③国際的なミス・コンテストの1つ。ミス・○○○○○
④字が下手なこと
⑤乗物などが目的地まで止まらずに行くこと

タテのカギ

⑥p4で紹介。上志段味○○○○
⑦p5で紹介した南生苑は開設して何年？
⑧耳たぶなどに穴を開けて付ける装身具
⑨ホップ○○○○ジャンプ

【応募要項】
郵便はがきに①問題の答え、②住所、③氏名、④「ふれあい名古屋」本号で興味のあった記事と理由、本紙に対するご意見を書いて下記までお送りください。
締切は2023年10月31日必着。
〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1
名古屋市社会福祉協議会　「ふれあい名古屋」係

【正解発表】
2024年1月号誌上にて発表。正解者の中から抽選で10名様に名古屋市総合社会福祉会館にて展示・販売中の授産施設製品の中から500円相当の品を差し上げます。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
個人情報について
応募いただいた個人情報は賞品の発送および本紙の企画以外に利用したり、第三者には提供しません。

前回の答え

ぶ	ら	ん	こ

社協からのお知らせ

赤い羽根共同募金にご協力お願いします

今年も10月1日から全国一斉に募金運動が行われます。
皆さまからの寄付金は多様な福祉活動に活用させていただきます。今年もどうぞご協力をお願いします。
なお、募金の使いみちは赤い羽根共同募金ホームページ「はねっと」で紹介しています。
(https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do)

ホームページ
はねっと

お問い合わせ
名古屋市共同募金委員会
TEL：052-911-3192
FAX：052-913-8553

「地域のよりどころ相談窓口事業」が始まりました！

名古屋市内の社会福祉法人が連携して実施する「なごや・よりどころサポート事業」。その取り組みの一環として10月より、この事業に参加する福祉施設を窓口とする「地域のよりどころ相談窓口事業」が始まりました。施設の職員が福祉の視点で困りごとを受け止め対応しますので、ぜひお気軽にお近くの窓口へご相談ください。施設一覧は、なごや・よりどころサポート事業のHPをご確認ください。

施設一覧は
こちらから

お問い合わせ
なごや・よりどころサポート事業　事務局
名古屋市社会福祉協議会　地域福祉推進部
TEL：052-911-3193　FAX：052-917-0702

「誰一人取り残さない」サスティナブル社会を目指しませんか？

民間事業者を対象とした障害者差別解消法に関する「企業向けセミナー」を開催します。(参加無料)

日　　時：令和5年11月22日（水）14：00～16：00
形　　式：ハイブリッド形式（来場型とオンライン型を同時に行うセミナー）
会　　場：名古屋市総合社会福祉会館　研修室（北区清水4-17-1　7階）
定　　員：50名（来場参加者）
対　　象：市内に事業所を有する企業の経営者、職員研修担当者、従業員等
受付開始：令和5年10月11日（水）9：00～　先着順
申込方法：令和5年11月10日（金）までに申込フォーム（セミナーお知らせに掲載）にて申込

セミナーお知らせ

お問い合わせ
障害者差別相談センター
TEL：052-856-8181　FAX：052-919-7585　メール：inclu@nagoya-sabetsusoudan.jp

名古屋市高年大学鯱城学園がオープンキャンパス（無料）を開催します
～文化祭、共通講座、専門講座、クラブ活動など鯱城学園の雰囲気を体感!!～

〇文化祭　11月9日（木）、10日（金）、11日（土）　10：00～16：00　11日は14：30まで
定員なし（申込不要。自由にお越しください。）
※舞台発表（コーラス、ダンス等）、作品展示（水彩画、写真、絵手紙など）

〇キャンパスツアー　定員20人（各日）※各講座を順に1講座3分～5分程度の見学　※希望日を1日選択して申込む。

金曜コース（10：00～11：00）	11月24日、12月1日、12月15日（共通講座と専門講座4講座）
水曜コース（14：00～15：00）	11月22日、11月29日、12月13日（専門講座5～6講座）

〇陶芸体験　11月30日（木）　9：30～11：30　定員20人　※作陶ミニ体験　場所：楽陶館
場　　所：陶芸体験以外は伏見ライフプラザ　5階、7階～9階
申　　込：キャンパスツアーと陶芸体験は11月13日から受付、定員になり次第終了します。
この他にクラブ活動（火・木）の見学もできます。詳細は下記まで。

お問い合わせ　名古屋市高年大学鯱城学園　TEL：052-222-7521　FAX：052-222-7523

第42回福祉の店（障害者作品即売会）
全国ナイスハートバザール2023in あいち

全国からいろんな「美味しい」や「楽しい」が集まりました。
日時・場所：10月17日（火）～23日（月）10：00～19：00
イオンモールナゴヤドーム前
10月25日（水）～27日（金）9：30～19：00
金山総合駅コンコース特設会場
など、11月上旬まで上記含め県内5会場で開催します。

◀10/17(火)
オープニングイベント
会場 イオンモールナゴヤドーム前・
セントラルコート
10:30～
開会式
11:00～
徳川家康と服部半蔵忍者隊®

Facebook　Instagram

◀愛知県セルプセンターの情報発信をご確認ください。

お問い合わせ
一般社団法人愛知県セルプセンター
TEL：052-304-7890　FAX：052-304-7813

ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介

ご寄付ありがとうございました

令和5年6月1日～令和5年8月31日受付分（敬称略、順不同）

福祉基金への寄付

弘田　直紀 / 冨田　哲生 / 伊藤　正広 /
民生委員児童委員大会募金箱 / 匿名7件

なごや・よりどころサポート基金への寄付

NPO 法人 ICDS / 匿名1件

市社会福祉協議会への寄付

株式会社ダイワテック・名古屋銀行 / 株式会社ウェーブ /
匿名3件

市社協サポーター（賛助会員）のご紹介

令和4年度・令和5年度会員（令和5年8月31日現在）（敬称略、順不同）

仁木 雅子 / 中央法規出版株式会社岐阜営業所 /
小池 博美 / 渡辺 賢次 / 株式会社マルワ / 鷲見 修 /
木村 剛 / 株式会社せがわ住機 / タック株式会社 / 冨田 哲生 /
三谷 洋一 / 北村 泰幸 / 株式会社サンエネック / 上村 成良 /
永井 瑛資 / K のキンパ / 越仮 加絵 / 水谷 巍 /
東洋羽毛東海販売株式会社 / 株式会社ウイングス /
石田 栄美子 / 立松 博 / 株式会社ラングローバル /
船木 陽子 / 柏 大輔 / 佐藤 良喜 / 鳳凰 敦 /
カシワギ電気株式会社 / 匿名5件

ご寄託ありがとうございました

使用済切手・書き損じはがき・使用済テレホンカードなど（令和5年6月1日～令和5年8月31日受付分）　※敬称略、順不同

蔦井株式会社 / 髙橋孝次 / 日東建材株式会社 / 公益社団法人全日本不動産協会愛知県本部 /
フォーユー（名古屋市総合リハビリセンター利用者の皆様）/ 瑞穂鯱城会 / 花ことば / 株式会社 光文堂 /
北区消費者クラブ / ハリキッテ友の会 世話人 毛利碩 / 田村富士雄 / 石川真萌 / どんとクイズ教育研究所 /
天白まちづくりサポータークラブ / 寄鷺会 / 植田北学区民生・児童委員 /
みなみ新体操クラブ / 千種・東・北・守山・名東区社会福祉協議会受付分 / 匿名17件

ご寄託いただいた使用済切手等は、次の団体に送付しました。

団体名	活用方法
公益財団法人緑の地球防衛基金	中国楡林市東陽山、タンザニア・キリマンジャロでの植林活動
認定 NPO 法人シャプラニール＝市民による海外協力の会	バングラデシュなど南アジアの地域で農村開発や災害対策の支援活動

※使用済み切手・書き損じはがき・ベルマークなどの寄付希望がありましたら、名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお届けください。お届けの際は、本広報紙へのお名前掲載の可否及び郵送希望の有無をお知らせください。

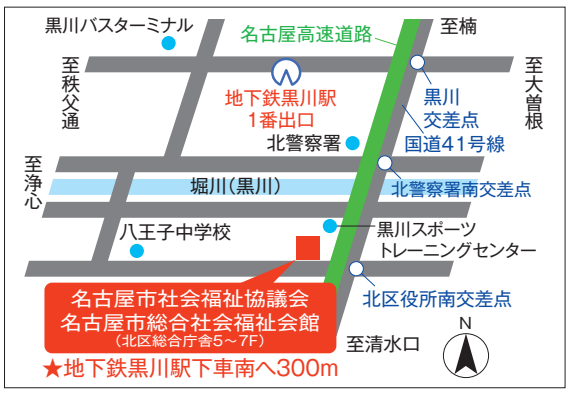
じむきょくちょうのつぶやき

久し振りに東京へ出かける機会がありました。たまたまだとは思いますが、東京で入った飲食店はどこも、QR コードを読み込み、スマホで注文する方式を導入していました。美術館や博物館もチケット売り場に並ぶことなく、スマホ一つで入館できました。スマホさえあれば何でもできてしまう、そんな世の中になりつつあることを改めて思い知りました。非接触型システムの導入はコロナ禍で急速に進んだようですが、コロナ後の社会でも、飲食店の人手不足やチケット売り場の長蛇の列の解消など、様々な効果を生み出すでしょう。しかし、接客という日常的なコミュニケーションの場が減ることは、人の孤独感、孤立感を一層深めることになるのかもしれません。

名古屋市社会福祉協議会事務局長　柄澤 克彦

ひとに、ひたむきに。
社会福祉法人
名古屋市社会福祉協議会

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17番1号 名古屋市総合社会福祉会館内
TEL：052-911-3192　FAX：052-913-8553
ホームページ：https://www.nagoya-shakyo.jp/
E-mail：nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp



※この広報紙は福祉基金を活用して作成しています。
※この広報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。
※市内社会福祉施設、民生委員・児童委員、大学などへの配布及び公共施設に配架しています。
広報紙「ふれあい名古屋 No.142」　発行日：令和5年10月1日
発行部数：12,000部